

(3) ②様式第3号-2 (報告書)

※文字のフォント、大きさは Meiryo UI / 12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。

※写真は、進行プログラムに沿って適宜、右ページに簡単な説明文を添えて貼り付けてください。

※必ず A3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

NITS・教職大学院・教 育委員会等 コラボ研修プログラム 支援事業報告書	実施機関名・連携機関名 島根大学大学院教育学研究科・島根県教育委員会／鳥取県教育委員会
	事業名： (学び続ける教師を応援する)しまだい学校教員研修(2024)
	研修等名：【NITS・島根大学コラボ研修】 (学び続ける教師を応援する)しまだい学校教員研修(2024) —学習指導及び生徒指導に主として関するもの—
	開催日時：次頁の表を参照 開催場所：島根大学教育学部附属山陰教員研修センター（島根県松江市大輪町 416-4） 参加人数（総数）と参加者の属性：延べ 110 人（鳥取県 27 人、島根県 77 人、山陰県外 6 人）

目的：

教員免許更新制のもとで培われたコンテンツを厳選し、先進的事例の視察や書籍による情報収集をもとに、それらについて研修内容および実施方法を見直すことで、「限られた時間」の中で受講できる効果的な研修を整備する。具体的には、これまで島根大学において開講してきた教員免許状更新講習の中でも、評価の高かった講習（2021 年度の講習満足度が 5 件法で 4.0 以上）を中心に、最新の教育課題に対応するための新規開設科目も含めて 34 研修を体系化し、山陰地方の教育関係者を主たる対象として開講する。なお本報告書では、学習指導に主として関する研修 9 講座、及び生徒指導に主として関する研修 4 講座を取り上げる。

内容：※全体発表の内容をテーブル起こしするなど、具体的に記載してください。

各講座 3 時間または 6 時間のプログラムを、対面／非対面（同期型オンライン）を併用するハイブリッド（ハイフレックス型）で開催した。コミットメントが低下しがちなオンライン受講者に対しては、Microsoft Forms 等を利用して質問を受け付けることで、対面での講座と同様程度の双方向性を担保した。

学習指導に主として関する研修では、具体的な授業デザインに踏み込んだ実践的な講座を中心に、個別の教科に特化した専門的な講座から、山陰地域の教育魅力化に関する探究学習の開発に関する講座まで幅広く展開した。受講者は、音楽科、国語科、社会科、図画工作科、特別の教科「道徳」など、各分野の専門家である講師から、最新の研究動向を反映した講座を受講したうえで、自らの授業実践にどのように応用するのかを考えるアクティビティを行った。個人の教材研究だけでは達成できない深い学びを提供した。

生徒指導に主として関する研修では、多様な子供の支援のあり方に関する講座を開講した。不登校やいじめなどに関して様々なニーズを抱える教育現場で経験のある外部講師が、具体的な事例を交えながら研修を実施した。例えば、「予防・開発的生徒指導：聴くことから始める人間関係づくり」（高橋智子講師）では、学校心理学に関する理論的バックボーンを共有したうえで、具体的な生徒指導の場面を想定した実践的なコミュニケーションのありようを受講生自らが体験した。

受講後、参加者はオンラインフォームを通じて課題や事後アンケートを提出した。一般的な研修とは異なり、本研修では受講者から提出された課題やレポートに対して、担当講師から直接フィードバックが得られる仕組みを整備した。

成果：※参加者の声など客観的な情報・データとともに記載して下さい。

◆研修終了後のアンケートで講習の平均満足度が 4.0 以上（5 件法で「だいたい満足した」又は「満足した」と回答）だった講習は 13/13 講座（100%）であった。全 13 講座の満足度の平均は 4.70 であり、受講者全体の 98.1%が「満足」（「だいたい満足した」又は「満足した」）と回答した。

◆受講者の学びの一例は以下の通りであった。（受講者のワークシートより一部抜粋）

「youtube での研修でした、滞りなく研修を受けることができました。聞くだけでなく参加する時間帯や課題もあり充実した研修でした。」「自身の課題を解決するに足る講義内容でした。現場はどうしてもその場凌ぎの対応になりがちなので、理論と実践を踏まえた具体的な問題解決方略を示してくださる本講座は素晴らしいと思いました。」「講義だけでなく、明日からすぐに使える実践方法の紹介や、協議による授業づくりができて、有意義な時間でした。」

「NITS からの提案（第一次）」との関連における研修担当者としての気付き

本研修は、教師の力量形成・深化の過程において「新しく知り、慣れていく過程」や「意味付けや捉え直しを通じて、実践を発展させる過程」に位置づくものであったと考えられる。ハイフレックス研修の実施方法として、YouTubeLive を採用したことで、接続に伴う障壁を小さくすることができスムーズな受講につながった。その一方で、ディスカッションへの参加等の場面において対面研修と同等の水準を求める声も一定数存在した。東西に300km にわたる山陰地域の地理的特性から研修機会の確保と受講障壁の緩和の観点から YouTubeLive を採用しているが、その位置づけと学びの限界については受講者に対しても共通理解を図っていくことが重要であると考えられる。また、既存の研修では一般的に課題やレポートの提出で研修を終えるものが多かったが、本事業で実施する研修では、受講者から提出された課題やレポートに対して、担当講師からフィードバックを行った。これによって受講者の学びが「豊かな気付きが醸成される学び」となる可能性が大きくなったと考えられる。

アイデアや工夫したこと： ※実際の様子がより分かるよう、必要に応じて写真や図を用いて説明してください。

◆日常的に利用されている割合が高く、ICT に関する条件整備が十分でない地域においても受講障壁が小さいと考えられる、YouTube Live を実施方法に採用することで、受講者の環境に配慮した研修を実施した。

◆受講者が担当講師から直接フィードバックを得られることで、受講者の学びが深化し、教師の学び続けるサイクルの駆動を促進することができた。

表 開講研修一覧

○学習指導に主として関する研修

研修日	研修時刻	講座の名称	担当講師	実施形態	受講者数
6月25日(火)	13:30～16:45	楽曲分析を基盤とする合奏教材指導法	河添 達也	対面	11
6月28日(金)	13:30～16:45	地域問題解決型探究学習の開発	中村 伶詞	ハイフレックス	10
7月26日(金)	9:00～16:15	小学校社会科の授業デザインと教材開発	加藤 寿朗 和田 律央 仁宮 香	ハイフレックス	5
7月29日(月)	9:00～16:15	国語科における漢字学習の支援	富安 慎吾	ハイフレックス	16
8月20日(火)	9:00～16:15	教育評価の新たな地平	深見 俊崇	ハイフレックス	5
8月21日(水)	13:30～16:45	中学校・高等学校数学科における 数学的モデリングの指導とキャリア教育	御園 真史	対面	6
8月27日(火)	9:00～16:15	小学校「外国語活動」～「外国語科」の理論と実践～	篠村 恭子	対面	5
8月27日(火)	9:00～16:15	図画工作科の授業と教材開発	川路 澄人	対面	18
12月12日(木)	13:30～16:45	子どもの主体的な学びを実現する道徳科の授業づくり (小学校向け)	塩津 英樹	対面	3

○生徒指導に主として関する研修

研修日	研修時刻	講座の名称	担当講師	実施形態	受講者数
7月22日(月)	9:00～16:15	いじめの早期発見、早期支援～小中の事例を基に考える～	三島 修治 原 市 小村 俊美	対面	5
7月23日(火)	9:00～12:15	Q-U調査を活用した児童生徒理解、学級集団理解に基づく 教育実践のあり方	川俣 理恵	ハイフレックス	9
8月9日(金)	13:30～16:45	予防・開発的生徒指導～聴くことから始める人間関係づくり～	高橋 智子	対面	7
9月5日(木)	13:30～16:45	支援につなげるための不登校理解～早期支援に焦点をあてて～	江角 周子	対面	10



グループワークを交えた研修の様子



Microsoft Forms を使用した遠方参加者と講師のやりとりの様子